第 21 号
2017 年 6 月 20 日
（平成 29 年 6 月 20 日）

ソムリエの風

特定非営利活動法人
奈良まほろばソムリエの会会報紙

発行　特定非営利活動法人
奈良まほろばソムリエの会
広報グループ
〒630-8001
奈良市法華寺町 254-1
株式会社奈良ロイヤルホテル内

当会初！ふれあい交流会、入会説明会・合格祝賀会を開催

交流会で挨拶する理事長（3/18）

本年 3 月、当会で新たに誕生した「ふれあい交流会」の初会合を開きました。

また 4 月には、第 11 回の奈良検定で新たに「奈良まほろばソムリエ」に合格された方向けの説明会と祝賀会を開催しました。いずれも多くの方にご出席いただき、会は大いに盛り上がりました。

（専務理事　鉄田　憲男）

会の「セーフティネット」として

昨年 3 月に実施したアンケートの結果によりますと、会員のうち 28%がグループに未加入で、その理由の第一は「忙しくて参加できそうにないから」（72%）。その大半が、フルタイムで仕事をしている方や遠隔地の方でした。グループ未加入の方で当会の行事に参加されている方はわずか 24%です。

主にこれらの方を対象に気軽に参加していただける場として「ふれあい交流会」を発足しました。

その第 1 回の会合を、3 月 18 日（土）に南都銀行西大寺銀行クラブで開催し、計 34 人（うち理事 10 人）が出席されました。

理事長挨拶のあと、橋本輝彦さん（桜井市纒向学研究センター主任研究員）から「纒向遺跡における調査・研究への取り組みとその成果」という演題でご講話をしていただきました。

交流会にご入会ご希望の方は、雑賀理事までご連絡ください。
kozaburo@cg8.so-net.ne.jp

当会グループなどの説明と祝賀会

歴史探訪グループの発表

本年 3 月 22 日（水）、第 11 回奈良検定「奈良まほろばソムリエ」の合格発表があり、新たに 51 人の合格者が誕生しました。

ソムリエンヌの説明画面

これらの方々を対象に、4 月 22 日（土）、入会説明会・合格祝賀会を銀行クラブで開催しました。出席者は 41 人（うち合格者 27 人）。

講演講座グループの発表

この日は 27 人全員に、当会に新規ご加入いただきました。

友松さんの講話

各グループと交流会の活動内容を詳しく紹介（8 分×9 人）したあと、当会会員で「第 1 回 Nara 観光コンシェルジュアワード」最優秀賞受賞の友松洋之子さんから「水の吉野」のテーマで講話していただきました。

新たな企画に果敢にチャレンジ

奈良シニア大学の岩井学長（向かって右端）、矢澤事務局長と（3/21）

奈良婦人会館の現地講座（3/14）

新年度に入っても、当会には新たな企画が続々と持ち込まれています。

昨年度に引き続き、奈良シニア大学、奈良婦人会館、クラブツーリズム奈良旅行センター、奈良まほろば館（東京）などに講師を派遣します。婦人会館の講座は2講座に、まほろば館は10回と、いずれもほぼ倍増となりました。

また京都の中江好喜さんによる現地研修会「目から鱗の古建築」を実施（全3回）。

KCN（近鉄ケーブルネットワーク）の「Kパラ next」にも、昨年度に引き続き出演しています。

コンシェルジュ最優秀の友松さん（第1回）と安井理事（第2回）は、ガイドに講演にと、引っ張りだこの人気です。昨年に初めて講師を派遣した県の「ムジークフェスト」の公演前のミニ講話にも、社寺からのご依頼を、前回のほぼ2倍もいただきました。

中江氏による現地研修会（5/7）

Kパラ next（KCNで4/4放送）

おかげさまで事務局はてんてこ舞いの忙しさですが、これからも新たな企画に果敢にチャレンジしてまいります。

会員の皆さん、ご協力をよろしくお願いいたします！

女性グループ・啓発グループ共同企画、夏休み子供支援活動

＜博物館・古墳見学体験＞　博物館の土器や埴輪の破片を組み合わせる「ドキドキくっつけ体験」や、展示解説や新沢千塚古墳群を回る「わくわく体験」で橿原市の歴史、古代の暮らしや古墳について学びます。

開催日時：平成29年7月30日（日）及び平成29年8月19日（土）
ともに10時30分～12時30分
参加対象者：小学生及び保護者（小学生のみの参加は不可）
定員：各日40名
申込み方法：往復はがきに参加希望者全員の氏名・年齢（大人は不要）・代表者の住所・氏名・電話番号・参加希望日を明記の上、歴史に憩う橿原市博物館（〒634－0826 橿原市川西町858－1）に7月15日（土）必着で郵送。

歴史に憩う橿原市博物館

＜歴史かるた・すごろく製作体験＞　小学生の皆さんに、奈良市の歴史・文化に対し興味・親近感を持ってもらい、楽しくゲームとして「奈良市歴史かるた」の製作(高学年)、「奈良市歴史すごろく」の製作(低学年)を行います。

開催日時：平成29年8月6日（日）9時00分～12時00分
会場：奈良市西部公民館（近鉄学園前駅南出口すぐ）
参加対象者：小学生及び保護者（小学生のみの参加は不可）
定員：20組40名（各10組20名）
持参品：色鉛筆、はさみ、のり
申込方法：参加者全員の氏名・年齢（大人は不要）・住所・電話番号を記載し、Eメール（info@stomo.jp）またはFAX（0742-90-1414）で夏休み子供支援活動担当まで。

奈良まほろばかるた

女性グループ（ソムリエンヌ）活動紹介

おしゃれにランチ

26 年 9 月に発足した女性グループは現在登録者数 27 名と、少人数ながら一人一人の得意分野を発揮し、活動をしています。

29 年度は新たに 5 名の方を迎えてのスタートを切りました。「ソムリエンヌ」は宝塚歌劇団のタカラジェンヌを意識して名付けられた愛称で、「知的・陽気・ポジティブ」をモットーに、チームワークを大切にしているグループです。会員同士の交流、親睦を主な活動の目的とし、社寺拝観や史跡巡りを中心に納涼会や忘年会など、季節ごとの親睦会も行なっています。

佐味田狐塚古墳

今年度は「奈良の美味しいもの～その土地でしか味わえないお店巡り」をテーマにした歴史散策を計画中です。探訪記は会報紙ソムリエの風で発信する予定です。

また、7 月、8 月は夏休みに合わせて、子供支援活動の取組みとして小学生を対象にしたイベントを啓発グループと共同して「歴史に憩う橿原市博物館」において行います。

8 月の納涼会は長谷寺近くのゲストハウスに宿泊して、長谷寺の朝の勤行に参列する計画も進めています。

女性グループ見学希望の方も大歓迎です。ソムリエの知識と女性らしい感性を活かした活動作りに参加しませんか。

（道崎 美幸）

シリーズ「奈良県の鉄道遺産」

和歌山線　川端支線

現地の工事現場に掲示されていた貨物列車の写真

五條市の鉄道遺産といえば誰もが「五新線」を思い浮かべ、第一回目のこの欄でも紹介しましたが、今回は「五条」（※地名は「條」駅名は「条」）駅からひとつ和歌山寄りの「大和二見」駅より吉野川（紀ノ川）近くまで伸びていた（通称）「川端支線」の紹介です。五新線は結局開業しなかったので列車が走ることはありませんでしたが、川端支線は SL が牽引する貨物列車が定期的に運行されていました。

この線の成り立ちは、明治 29 年（1896 年）南和鉄道が吉野口－五条間の開業時に貨物線として五条－川端（当時の駅名は二見）間を開通させました。その後、明治 35 年（1902 年）に紀和鉄道が和歌山と現在の「大和二見」駅間を開業し現在の和歌山線が全通。大和二見－川端間は本線から外れた盲腸線の支線となりました。

その後、南和鉄道・紀和鉄道とも国有化され、国鉄となった後も木材や砂利などの輸送に利用されていましたが、鉄道貨物の減少に伴い、昭和 57 年（1982 年）10 月 1 日限りで廃止となりました。

大和二見駅で現在の線路から南側に分かれてカーブする遊歩道が廃線跡とわかります。

現地に残る橋脚

この川端支線最大の鉄道遺産は国道 24 号線を越えてコーナンの右側の廃線跡の道を進んだ左側に残る築堤とその切れ目に架けられていた鉄橋の橋脚。さすがに線路があった桁部分は撤去されていますが、廃線後 30 年以上たった現在もレンガやコンクリートの柱が当時のままそびえています。

（小林 誠一）

シリーズ「大和の伝統行事」

8 月 15 日（ほうらんや火祭り）

今回から「ソムリエの風」に保存継承グループとして年 4 回シリーズで、季節に応じて県内各地で催される伝統行事・祭事を紹介していきます。

今回は、夏号ですので暑い時には熱い祭りをということで、「ほうらんや火祭り」(橿原市・東坊城町) を紹介します。

ほうらんや火祭りの概要

橿原市東坊城町内の 5 地区（弓場・川端・大北・万田・出垣内）と隣接する古川町と合わせて 6 つの字から、春日神社(大松明 4 本、役松明 2 本)、八幡神社（大松明 6 本、役松明 3 本、8/14 の宵松明 1 本）へ計 16 本の松明が奉納され、繰り出した大勢の男衆が火のついた大松明を担ぎ、両社の境内を練り歩く勇壮で賑やかな祭りです。

八幡神社での大松明。時計回りに境内を 2 周する。後方は点火前の大松明

※奈良県の無形民俗文化財に昭和 57 年 3 月に指定されています。

例年、8 月 15 日に午後 1 時から春日神社で、午後 3 時から八幡神社で実施され、それぞれ約 2 時間で終了します。大松明は長さ約 3m、直径 2m、重さ約 450kg。

八幡神社宮総代を長年務めた村島兵市氏のお話

・祭りの歴史は伝承では一説に 300 年ほど昔、八幡神社の一隅にあった豪族の墓地を移動させた折に、さ迷った亡霊を鎮め清めるために始められたと伝わります。

・祭りの記録資料は唯一、同家所蔵の万延元年（1860）の庄屋「村島吉助の日記」が残っており神事が古法に準拠し厳格に行われていることが分かります。

・保存継承の問題点は資材調達の問題、作り手・担ぎ手の不足の問題、技術伝承の問題等を指摘された。ただし、同祭りは古来の神事として継続する決意を強く語られました。

【行き方】両神社とも近鉄南大阪線坊城駅から徒歩圏内。

（保存継承グループ・亀田 幸英）

---

10 月 8 日（日） 天理で”奈良まほろばソムリエ大会”開催！

＜午前＞秋空の下、天理周辺でグループハイキング

＜午後＞第 8 回なら記紀・万葉を味わい楽しむシリーズ講演会

会場：天理市文化センター

講師：田辺征夫氏（奈良文化財研究所 前所長）

演題：法隆寺再建・非再建論争の学術的評価（仮題）

みなさんぜひ ご参加ください

＜編集後記＞

今回から新たな連載「大和の伝統行事」を始めました。保存継承グループが自ら足を運んで見学してきた行事を紹介していきます。興味をもたれた方は、ぜひお出かけください！！

（広報グループ）秋山・窪田・小林(誠)・雑賀・沢田・豊田（敏）・永井・中村・廣岡・二上・松森・吉川

特定非営利活動法人 奈良まほろばソムリエの会

事務所所在地：〒630-8001 奈良市法華寺町２５４－１

株式会社奈良ロイヤルホテル内

ホームページ：http://stomo.jp/

メールアドレス：info@stomo.jp

つれづれ日記（ブログ）：http://nara-stomo.seesaa.net/

HP の QR コード